



プロバスだより 第313号

2021年12月9日発行

編集・発行 情報委員会

東京八王子プロバスクラブ

創立 1995年10月18日

2021～2022年度 テーマ

プロバスライフを「元気に楽しもう」

特別例会

日時 令和3年11月11日(木)
場所 日本閣 2階 「シンフォニー」
時間 11時より

開会挨拶

会長 河合 和郎

コロナも落ち着きを見せ、
用心しながらではありますが
特別例会を開催することが出来
ました。本日はプロバス会
員、ご家族の方々、そして何
より日野・多摩プロバスクラ
ブから多数のご参加を頂いて
おります。ありがとうございました。



本日は八王子市が日本遺産に認定された「八王子
の歴史物語」を八王子市の担当の方からご講演をい
ただき、その29に及ぶ「構成文化財」の一つであり
ます「華のある文化財」～八王子芸妓による踊りを
ご披露するプログラムであります。

同時に、会員の皆様が所蔵されておられますお宝
や文化財が展示される「ミニ文化展」も同時開催さ
れております。諸準備に当られた、飯田委員長を中
心とする研修委員会の皆様に感謝申し上げて挨拶と
します。どうぞ最後までお楽しみください。

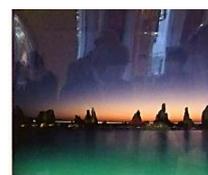
出展物

この度は、会場の一角にミニコーナーを設けて、
会員の皆様の趣味の作品や、お宝等を多数展示し、
会員の皆様方に鑑賞していただきました。



写真同好会

- 矢島一雄 「黎明の響き、天空の朝焼け」
- 土井俊玄 「秋の柄長 秋景の談山神社」
- 岡本宝蔵 「満開の春 晴れ着兄弟」
- 武田洋一郎 「帰り船」
- 阿部治子 「青春の思い出」
- 濱野幸雄 「イグアスの滝」



絵画

- 持田律三 「マーガレット」
- 吉田信夫 「植木鉢と果物」
- 根本照代 「心和む風景 館町の一角」
- 飯田富美子 「晩秋の想い」
- 田中信昭 「船旅の思い出」
- 池田ときえ 「縄文の土器」





陶 芸

有泉祐子 飾り皿・花瓶
 高取和郎 香炉 2 点、茶碗（黒楽・天目・辰砂）
 塚本吉紀 皿ほか 5 点



彫 金

下山邦夫 飾り額 3 点



木 彫

下田泰造 木の葉のコースター



盆 栽

堀 武彦 五葉松・梅・真柏



俳句同好会

河合和郎、矢島一雄、田中信昭、東山 榮、
 馬場征彦、野口浩平、下山邦夫、飯田富美子、
 池田ときえ の各会員とゲスト参加久野久夫会員



蘭の鉢

橋本鋼二 蘭の鉢



手 芸

土屋三千代 手作りアクセサリー
 有泉裕子 布ぞうり



私のお宝

杉山友一 ゴルフ記念品



野口浩平 広重版画「猿橋の図」 後藤分銅



一瀬明 金鉦・金杯



立川富美代 ウランバートル市の褒賞



久野久夫 大津絵3点



出版物

橋本鋼二 「万人に文を」「おおすず こすず」



第一部

◆ 講演（要旨）

日本遺産「桑都物語」 八王子市文化財課主査

草間 亜樹 氏

1. 日本遺産とは

日本遺産は地域の歴史魅力や特色を通じて我が国の文化殿燈を語るストーリーを「日本遺産」として文化庁が認定する。



日本遺産は、「物語」を認定するものである。

現在全国で 104 件が認定されている。東京都では唯一である。

2. 日本遺産「霊気満山 高尾山～人々の祈りが紡ぐ桑都物語」

桑都和称され、養蚕や織物で発展してきた八王子の歴史を、高尾山とのつながりによって、過去から現在、未来へと紡いでいく物語。

令和2年8月19日に日本遺産に認定された。

3. 八王子の歴史文化

29 件の有形無形の文化財（八王子城、八王子芸妓など）によって形作られている。

4. 日本遺産を活用する取り組み（現状とこれから）

物語を語る上で欠かせない有形や無形の様々な文化財を総合的に整備活用し、地域の活性化を図る。

桑都日本遺産センター八王子博物館（サザンスカイタワー3階、令和2年6月開館）がある。

第二部

◆ 唄と踊りの鑑賞会

日本遺産に認定された「桑都物語」を構成する29の文化財の一つである「八王子芸妓」の唄と踊りの鑑賞会が催されました。

八王子の芸妓は、現在16名とのことです。この度の鑑賞会には、めぐみさん、成華さん、てる葉さんに来ていただきました。

伝統文化《八王子芸妓》の粹と銘打って唄と踊りを演じていただきました。



演目は、次の5曲でした。

- ① 紅葉の橋 ② 八王子オリャセ節 ③ 千人隊の唄、
- ④ 八王子の四季 ⑤ さわぎ

鑑賞会が終了した後は、芸妓の皆さんが会場の会員の各テーブルをまわってくださることとなり、会



員との懇談や記念撮影の機会が設けられました。

なお、復活を遂げた「八王子芸妓」に関する書籍、「芸者衆に花束を、八王子花柳界、復活」（風声舎、著者・浅原須美）の紹介があり、購入希望者に販売されました。

閉会挨拶

研修委員長 飯田富美子

昨年に引き続き好天気恵まれた晩秋の一日、庭園が美しい御殿山日本閣において特別例会を実施いたしました。

参加者は56名（内訳：プロバス会員38名、ご家族4名、日野プロバス5名、多摩プロバス9名）。

今年の研修委員会では全会員が参画できる特別研修会をという趣旨で皆さんの趣味の作品やお宝を出展して頂くコーナーを設けました。講演は八王子市文化財課主査（日本遺産推進担当）学芸員草間亜樹氏による「桑都物語」について。さらに伝統文化「八王子芸妓」による唄と踊りのご披露をさせていただきました。

桑都物語は知っているようで知らない日本遺産の事をやさしく話されたのでよく理解できたと、また芸妓による唄と踊りも間近で観る機会が少ないだけに、終わってからも一緒に写真撮影をするという大変な盛り上がりを見ることができました。

この度の特別例会は日本閣のご支援を頂き立派な展示会場ができたこともありましたが、それにもまして多くの会員のご出展ご協力があったからこそ感謝しています。前日の会場設営、展示品の設置なども遅くまで各委員会からのご協力を頂き無事成功裏に開催できました事を感謝しています。

終了後は「よい企画でしたね」他のプロバスクラブさんからは「素晴らしい会に参加させていただきありがとうございました。」とのお言葉を頂きました。皆様のご支援、ご協力ありがとうございました。



第313回例会

日 時：令和3年11月11日(木) 14:50～15:20

場 所：八王子日本閣2階「シンフォニー」

出席者：37名 出席率 73%

(会員総数 52名、欠席15名、休会1名)

1. 開 会 野口例会副委員長

第313回例会開催を告げ、配付資料の確認。

2. 会長挨拶

河合会長

大変素晴らしい内容の特別例会でした。まだ、華やかな余韻が会場にただよっております。歴史と伝統の魅力を堪能することが出来ました。

それではこれより11月の例会を開催します。

3. ハッピーコイン披露

池田副会長からハッピーコイン22件の披露がありました。(5ページに掲載)

4. バースデーカードの贈呈

11月生れの会員に池田会員手作りのバースデーカードが贈られた。



写真 左から杉山会員、寺山会員と会長

5. 11月のラッキーチャンス

堀会員、土井会員、岡本会員がチャンスを射止めました。

6. 幹事報告

山口幹事

(1) 特別例会について

本日の特別例会、昨年度に引き続き本年も素晴らしい企画立案をして頂きました。

日頃、なかなか聴くことの出来ない八王子の歴史、文化に係る講話、またこれも滅多

に見ること、聞くことが出来ない芸妓さんの唄と踊りのほか、この秋の紅葉の中、大変愉しく、清々しい一日を過ごすことが出来ました。

会員各位による趣味の域を超えたお宝の出展にも感動いたしました。

何れにしても企画立案をいただいた飯田研修委員長始め委員会の皆様にご敬意を表す次第です。有難うございました。

(2) いちょう祭りへの協力

いちょう祭り祭典委員会から依頼のあったボランティア派遣の件、有泉副幹事に調整して頂きました。



協力期間は11月3日、10日、17日、20日、21日の5日間、各委員会等から延べ人数25名を派遣することとなりました。ご協力よろしくお願いたします。

7. 委員会活動報告

(1) 情報委員会

内山委員長

会員の皆さん方の出展作品を拝見しまして、様々な世界で活躍されていることに大変感動しました。

今回出展された方々に趣味の世界に飛び込んだ経緯や活動中の苦労話など、どんな内容でも結構ですから文章に纏めていただきたいと感じました。

楽しめるプロバス日より作成のためにも寄稿文としてご提出していただければ幸いです。

(2) 地域奉仕委員会

馬場委員長

12月の臨時総会に向けて「生涯学習サロン」の予算案を作成し、11月理事会に諮りました。詳細は省略しますが、主としてコロナ対応による会場費の大幅増があり、約5万円の赤字となる予算案でした。会場は10月例会と同等のソーシャルディスタンスを確保するスクール形式を前提にした案です。

理事会で審議した結果、先ず会場のコロナ対応は10月例会に準じることが重要であること、次に赤字対策としてはプロバス会員のサロン登録料を2,000円に減額する案を元に戻し3,000円とし、計5万円の収入増を図る事との結論に至りました。

10月例会で報告したばかりの登録料減額案を変更することになり申し訳ありませんが、コロナ禍を乗り切るため改めて会員諸氏のご協力をお願い申し上げます。

(3) 「東京八王子 2022」

一瀬実行委員長

懸案事項になっていました交流会での「わがプロバス活動」のプレゼンクラブとしてお願いする候補2クラブを実行委員会で決定いたしました。これから依頼し、最終決定プロセスに入ります。また翌日に企画している日本遺産高尾山の実踏（下見）を今月末予定しています。関係者で諸課題をクリアすべく知恵を出し合います。緊急事態宣言も解除となり、近隣の多摩・日野・埼玉浮き城の3プロバスクラブも例会を再開いたしましたので、10月21日東京日野、11月10日東京多摩、11月19日埼玉浮き城の各プロ

バスクラブにお邪魔して来年度の総会のコ・ホストクラブ就任についてお願いし、それぞれ快諾いただきました。心強い援軍です。また10月17日の市民音楽祭に当クラブのシニアダンディーズが出演いたしましたが、ありがたいことにご案内に応じて日野プロバスクラブ・多摩プロバスクラブから多くのプロバスの仲間が見えられていました。また別項で報告の通り11月11日の特別例会には日野・多摩プロバスクラブから13名もの多くのプロバス会員に参加いただきました。交流の輪を拡げながら来年の八王子大会につなげていきたいと思ひます。

8. プロバス賛歌

起立・黙唱

9. 閉会

池田副会長

本日の特別例会には、多摩、日野両クラブの皆さま、そして会員ご家族のご参加をいただきました。ありがとうございます。



日本遺産としての「桑都物語」講演、その一環として八王子芸妓の方々の唄と踊りを楽しみました。会員の作品展示も興を添えたかと思ひます。

来月の例会会場はいつものエルシィになります。元気でまたお会いしましょう。



◆10月には私の卒寿に皆様の暖かいお祝い有難うございました。残された人生をゆっくりと楽しく進めて行きたいと思ひます。10月17日の八王子音楽フェスティバルにシニアダンディーズがJCOMホールに出演しました。クラブの多勢の皆様の応援有難うございました。大成功でした！！

立川富美代

◆八王子には幸せを運ぶ青い鳥（磯ひよどり）が来ているとのこと。私も観たいものでございます。皆様方の益々のご多幸をお祈り申し上げます。

井上会員の奥様から

◆我が家のランがうまく咲いてくれました。

橋本 鋼二

◆11-11。1 が4つの日の特別例会。研修委員会を中心にすばらしい企画が出来上がりました。多くの皆さんの参加を得てハッピー。 一瀬 明

◆特別例会に東京日野・東京多摩の多くのプロバスクラブの仲間に参加いただきました。来年の総会に向けて交流の輪が広がらんことを！！ 一瀬 明

◆晴天に恵まれた特別例会、多くの方々のご参加、ご支援、ご協力により盛況裏に開催出来ましたことをうれしく思います。 飯田富美子

◆1年ぶりに例会に御参加頂いた濱野さん。ご参加できてよかったです。奥様方にも参加頂いて本当にハッピーです。 飯田富美子

◆今期2回目の例会、展示会、特別イベントと賑やかな企画。秋晴れの中おめでとうございます。研修委員会の皆様ご苦労さまです。お陰さまで心 Happy になりました！！ 持田 律三

◆コロナ禍も落ち着きを取り戻し、プロバスの例会も元気を取り戻しました。Happy 下山 邦夫

◆コロナの新規感染者の数が減りつつあり、大変嬉しく思います。今は終息を願うばかりです。 土井 俊玄

◆自分の写真を皆さんに見て頂けることは大変嬉しいことです。でも矢島さんの作品の前では正直、見劣りすることは残念。 土井 俊玄

◆皆様の素晴らしい作品がずらりと並んだ会場、すがすがしい秋の好天にも恵まれ、高揚する気持ちを抑え切れずに居るところです。コロナを吹き飛ばしてハッピー！ 田中 信昭

◆感謝 2 題。特別例会の盛会おめでとうございます。関係各位のご尽力に感謝。11月5日のプロバスクラブゴルフコンペでエイジシュート達成。良きパートナーと84歳の健康な体に感謝。 河合 和郎

◆皆様のお宝拝見！！素晴らしさに驚きました。又次回も楽しみです。 野口 浩平

◆秋晴れの中の特別例会。皆さんの素晴らしい作品を拝見させていただき感激しています。 有泉 裕子

◆素晴らしい特別例会になりそうです。期待しています。 山口 三郎

◆プロバス昭和10年組7人のしんがり誕生月です。7人そろっての2年後の米寿が当面の目標です。 杉山 友一

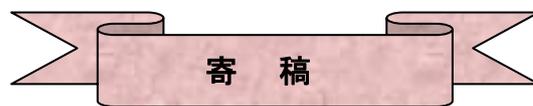
◆11月例会が開催されて皆様の元気な顔を拝見し、うれしく思います。 高取 和郎

◆今日提示しました写真は私が中学3年生の時、キャプテンとして裸足でドンマイドンマイと叫びながら勝ち取った県体優賞したときです。20歳の頃、宮城道雄先生と共に「春の海」を演奏した写真です。 阿部 治子

◆JCOM ホールの大舞台で平均年齢84歳のシニアダンディーズは大いに青春を謳歌しました。応援ありがとうございました。 岩島 寛

◆10月17日 JCOM ホールにおいて合唱の本番舞台上がりました。久し振りの緊張感を満喫、ハッピー。 馬場 征彦

◆特別例会の開催でとても気持が高まり、皆様にお会いできる喜びで一杯です。手作りの作品とお宝の素晴らしさにまたまたうれしかぎりです。 土屋三千代



無骨なる 我に似たるか 柚子ひとつ

久野 久夫

桃・栗3年、柿8年、梅は

酸い酸い13年、柚子の大馬鹿

18年との諺にもあるように、柚子は植えてから18年もかかるので、生産者はたまったものではないから大馬鹿と揶揄

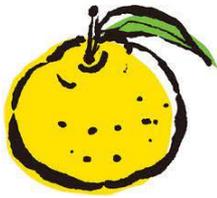
されています（因みにこの言い回しを積極的に色紙に書いたのは、あの「二十四の瞳」の作者坪井栄であるようです）。

その柚子ですが昔から身近かな民間薬として、その使い道は多岐に亘り、不眠や風邪、便秘解消、腰痛・膝痛、リウマチの緩和等に、万能薬的に使われてきました。

古き薬学書には「柚子は香りで脳を刺激し、血行を促進して冷えや神経痛を治す」と記されています。

柚子の皮には多量のビタミンCに加えてポリフェノールの一種であるヘスペリシン、果汁には、イソフラボンやクエン酸・リンゴ酸が含まれています。





これらの成分は、強い抗酸化作用を持ち、痛みのもとになる活性酸素を除去すると共に抗がん作用や悪玉コレステロールを除去する効果があります。また、

皮や実には柚子特有の香り成分が含まれ、香りを嗅ぐだけでリラックス効果が得られます。更に種子の内部にはリモネンやノミリン等、柚子特有の精油成分が含まれており、この成分にはリウマチの炎症や神経痛の痛みを和らげる作用が期待されています。何れも副作用が少ないのが利点です。柚子の種子の表面のヌルヌルした成分は、テルペンやペクチンという水溶性の食物繊維の一種で、皮膚の保護に役立ち、化粧水に使えば肌の保水力を高めます。晩秋に収穫される冬の果物ですから、これからの季節の痛みにはピッタリの優れものです。

以上、柚子の驚くべき効用について述べました。という訳で決して大馬鹿ものではないことを肝に命じ、夢夢疎かにするべからず。

「完歩賞（八王子いちよう祭り関所オリエンテーリング）」と「スタンプの謎」

丸山 恭

八王子いちよう祭り関所オリエンテーリングは、「追分関所」から「小仏関所」まで約5.5キロメートル、約8,000歩の道のりを歩いて巡る催しです。



地元町会が12関所（追分（追分交番横）、千人一（千人一町目会館）、千人二（千人二丁目会館）、千人三・四（千人三・四丁目会館）、並木一（長安寺）、並木二（権山事務所）、新地（高尾警察署並び）、原宿（原宿会館）、原（熊野神社境内）、河原之宿（浅川市民センター）、小名路（西浅川町児童遊園）、小仏（小仏関所跡）を設置します。

令和3年11月21日（8日）午前9時から13時まで、八王子プロバスクラブの担当場所である「いちよう祭りD会場本部（陵南公園分園）」において飯田会員、深谷会員と三人で受付・案内・資料配付・会場巡回等を担当しました。その際、いちよう祭り祭

典委員会副会長である岡本会員から、関所オリエンテーリングへの参加のすすめもあったことから、早速、残り僅かとなっていた「通行手形」（500円）を買い求めました。



午後を担当する田中会員、寺山会員へ事務引継をした後、13時20分頃、D会場を出発して甲州街道を追分関所に向いました。新地、千人三・四、千人二千人一の各関所を経て追分関所に至りました。

各関所においてはこれまでは、関所を守る地元町会の方々が、参加者が提示した通行手形に焼印を押してくれましたが、今回は、焼印ではなくスタンプに変更したとの案内がありました。なぜ、焼印でなくスタンプに変更したのだろうか謎でした。

しかし、その謎は一番目の新地関所であっさりと氷解しました。関所は、関所を守る地元町会の方々と透明スクリーン越しに対面するように設けられており、関所スタンプは参加者自らが通行手形に押す方式がとられていました。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からとのことでした。アルコール消毒液もたっぷりと備えてありました。

追分関所で関所スタンプを押した後、もと来た道を引き返し、最終の小仏関所に向いました。並木一（並木二を併設）、原宿、原、小名路の各関所を経て

俳句同好会便り

私の一句〈十一月の句会から〉

河合 和郎

句友が一堂に集まり、わいわいがやがやの句会は充実感が一杯だ。句の鑑賞にも熱がこもる。本音が言い合える句会こそが本物の句会なのだ。

真一文字に口結びたり寒稽古 馬場 征彦

厳しい寒稽古の様子が表情の描写でよく表現されている。一点集中の描写が生んだ佳句。

どんぐりや落ちて階段二つ飛び 野口 浩平

着眼点がいい。階段二つがいい。団栗の実が落ちる一瞬の動きを捉える観察眼が素晴らしい。

カーテンの切れ目ゆらすや初嵐 東山 榮

秋風がカーテンを揺らせて吹き抜けてゆく。何でもない光景だが爽やかな清涼感が残る。

白壁に柿の影浮く夕陽かな 矢島 一雄

定番の光景だが捨て難い日本の原風景。白壁と柿と夕陽の役者が織りなす一幅の絵画。

かかる日の在りし昔よ冬日射す 池田ときえ

冬の日溜りの中で来し方を偲ぶ。ただ、隣にいた人はもう居ない。人生の哀歎を詠う秀句。

物置の奥より返事冬支度 田中 信昭

日常の一コマをさりげなく一句に。構えない表現に作者のセンスが。俳句の材料は身近にの見本。

一つ残り朱を極めたり烏瓜 下山 邦夫

一点に焦点を絞った表現が効果的。青空に浮かぶ真っ赤な烏瓜。力強いきれいな一句になった。

ずつしりと冬菜届けり土の香と 飯田富美子

里の家から冬菜がどっさりと送られてきた。下五の「土の香と」に懐かしさと感謝を込めて。

今日からは足音一つ落葉径 河合 和郎

仲良く散歩されていたご夫婦が一人で歩くようになった。誰にでも訪れる、望まないその日。

編集後記

特別例会と併せた特別号です。

プロバスクラブの例会は、今年は7回中止でした。令和4年はスワローズにあやかり、「絶対大丈夫」月一回の例会開催としたいものです。 丸山 恭

小仏関所（川原之宿併設）に15時頃着きました。

「12個全てのスタンプそろえるとパーフェクト（完歩賞）を差し上げます」との事でしたが、その時までに賞品がなくなっていたため、「完歩」のスタンプを押して貰っただけでした。これで関所オリエンテーリングは無事に終了しました。

小仏関所からは、来た道を引き返して高尾駅まで歩きました。小仏関所と追分関所との往復は、約11キロメートルになりますが、陵南公園前から高尾駅までの約1キロメートルは、片道を歩いただけで往復していないので、結局、この日は約10キロメートル歩いたこととなります。

せっかくのいちょう祭りであるのに、脇目も振らず、ひたすら歩いただけのようなお話になってしまいましたが、追分町から高尾駅前までの4キロメートルにわたる甲州街道の両側に約770本のいちょう並木が続き、とりわけこの時期になると美しく黄葉し、その景観は誠に素晴らしく、筆舌に尽くしがたい美しさがあります。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

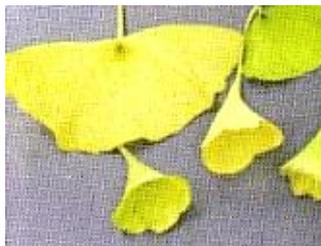
珍しいイチョウ

八王子みなみ野シティの兵衛川沿いに旧宇津貫町の鎮守様として新年の祝賀や8月の祭りがずっと行なわれてきた熊野神社があります。社殿の創建は江戸中期と言われております。江戸末期に熊野三社を併せて祀り、これにより熊野神社と呼ばれるようになりました。

熊野神社の境内にはスギやヒノキ、サワラ、カシ、イチョウ等たくさんの樹木が繁っております。その中に日本でも珍しいラッパイチョウの大木が石段の登り口にあります。



これは最近になって偶然見つけられたもので平形の葉にラッパ状の形状をした葉が混じっている貴重な樹木です。変異種でしょうか。



写真は八王子市の資料から

この樹木は大正13年に皇太子殿下ご成婚記念に植樹されたものです。(雅)

